

昨年度下半期の活動報告(概要)

山形県作業療法士会では、研修事業として、認知症基礎研修、学術研修大会を開催した。また一般公開講座「認知症フォーラム」を開催し、介護予防事業として「認知症出前講座」を実施した。

認知症基礎研修は、どの領域においても認知症に対応できる作業療法士として活躍できるよう、作業療法士であれば知っておきたい認知症の最新情報や知識の取得を目的として、協会の認知症アップデート研修をベースとした研修を行った。参加者の半数が若手の中、ベテランの参加もみられた。また今回から講師は認知症作業療法推進委員の持ち回りとし、実践的アウトプットの機会とした。

学術研修大会では、宝塚医療大学の上城憲司教授をお招きし、「認知症の人のBPSD対策と家族支援」というテーマでご講演いただいた。参加者へのアンケートや委員から好評をいただき、学びの多い研修であったことがうかがえた。同アンケートからは、精神疾患を併発した方への対応やMCIへの取り組みなど、今後、重要性が高まるテーマへの関心が示された。今後の研修会の参考としたい。

認知症フォーラムは県内4支部にて開催した。村山支部では全国イベントである「注文をまちがえる料理店」が寒河江市にて開催され、そちらに協力する形で実施した。最北支部では病院イベントへの参加、置賜・庄内支部では認知症カフェに参加する形で実施した。認知症出前講座は、一部の自治体から継続して依頼があり、通いの場等を会場に、昨年度は5自治体、計11回実施した。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

例年同様、一般向け認知症作業療法パンフレット(下図)を県士会ホームページやSNS等に掲載し、情報発信する。希望者にはパンフレットの配布を行う予定である。

今年度の認知症関連事業(士会独自の取り組み)

認知症基礎研修は、12月開催に向けて準備中である。

認知症出前講座は、自治体からの依頼に応じて、随時、開催予定である。

認知症フォーラムは、県内4支部にて開催予定である。



認知症フォーラムの様子



認知症出前講座の様子



一般向け認知症作業療法パンフレット